

平成29年度 事業報告書

大慈ほまれ幼保連携型認定こども園

1. 《ヴィジョン》
 - ①より良い環境作り（家庭的な雰囲気の中で過ごす）
 - ②一人一人を大切にする保育の継承
 - ③保育者の人間力、保育力の向上
 - ④人材確保

2. 《基本方針》
 - ①教育・保育要領の内容を遵守し、家庭的な雰囲気の中で、教育・保育目標に向かってみんな協力して保育を行う
 - ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める
 - ③安全を第一に考え、子どもが安心して過ごせるようにする

3. 《中長期計画》
 - ①こども園を地域に知っていただき、交流が持てるように努める
 - ②子どもや保護者に寄り添い、安定した保育を行う
 - ③楽しみながら身に付くように教育を行う
 - ④研修の充実を図る。
 - ⑤新制度の開始に伴い、保護者が安心してこども園を利用出来るように配慮する
 - ⑥小規模あいとの連携を図る

4. 《平成29年度目標》
 - ①地域にこども園を知っていただけるようになり、交流・信頼関係が築けるよう積極的に関わる
→近くの公立の保育所や区の5歳児交流会、リハビリステーション専門学院との交流実施
湊町公園に行く途中のお店の方との挨拶の交わし合いをした。
 - ②理念をよく理解し、子どもや保護者に寄り添い、信頼関係を築き共に子育てをする
→情報を発信したり、相談を受けたり、積極的に声を掛ける機会を作った。何かあった時は即日対応を常に意識し、より良い関係に努めた
 - ③特色・サービスの視覚化を図る
→「ほまれっこだより」やHPの更新を行事毎に行った。
 - ④子どもが楽しんで取り組み、総合的に成長を促す
→体力作りで、サーキット遊びや律動を決まった時間や決まった日に行い、積み重ねを強化した。朝の運動遊びを見直した。
 - ⑤運動遊びや律動を全員で行い、子どもの体力作りを強化し、職員力を高め合う
→律動と共に運動遊びを3園で再度見直し、次年度に向けて計画を立て直した。
 - ⑥職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解し、向上を図る
→会議時の研修報告により、共通理解し、園全体で取り組むこととしたが、まだ足りない部分があり、職員全体で意識して取り組んだ。

5. <<広報>>

- ①本園ホームページ・インスタグラムの更新を行った。
- ②園開放、子育てひろばにて、子ども園を知っていただいた。
- ③園外避難訓練時、腕章をつけて、地域の方に知っていただいた。
- ④園開放のポスターをスーパーや病院に掲示させていただいた。
- ⑤散歩の行き帰りにお店の方に挨拶をしたり、声をかけていただいたり、知っていただけるようになった。
- ⑥見学者や一時保育の希望が年々増えている。

6. <<職員研修>>

- ①職員の資質向上のため職員会議やミーティング後に研修・伝達講習を行った。
- ②教育・保育計画を見直し、書類の書き方、また気になる子どもの対応や言葉の掛け方を検討した。
- ③造形遊び・運動遊び・律動など再確認し、年齢・時期にあったものを計画しなおす
- ④11月23日、法人内園合同研修で、午前中は、「気になる子どもの対応」の講演、午後から早坂氏の講演を行った。

7. <<育児支援>>

- ・お誕生日会、園開放、子育て応援事業時に育児相談や健康相談を行った。
- ・一時保育の希望が多く、一日平均7・8人受け入れた。

8. <<災害・防犯避難訓練>>

- ・毎月1回火災・防犯訓練を行った
- ・年4・5回けいれん・SIDS・誤食・誤飲時の訓練を行った。
- ・10月27日消防署の方に来ていただき、消火訓練を行った。
- ・10月19日交通安全教室・警察の方に不審者になっていただき、防犯訓練実施。
- ・11月5日・11月17日にシェイクアウト訓練をし、5月と11月19日に津波訓練で大倉山公園まで避難訓練実施。

9. <<健康診断・衛生>>

内 容	実地日 (回数)	業者等
健康診断	6月・10月	浪方医院
眼科健診	11月	中堀眼科医院
歯科健診	6月・11月	太田歯科医院
耳鼻科健診	5月	野村耳鼻科医院
尿検査	6月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月 (1回以上)	サニックス株式会社
グリストラップ清掃	年5回	アーテックサーキュレーション

10. <<行事内容>>

月	行事名
4月	入園式
5月	クラス懇談会 5歳児大慈保育園といちご狩り お楽しみ会
6月	お楽しみ会 中央区7ヶ所公私5歳児交流 トライやるウィーク 実習生受け入れ

7月	七夕祭り プール・水遊び開始 リハビリ専門学院との交流 お泊り保育
8月	夏まつり（同園会含む）ワークキャンプ受け入れ
9月	運動会東出町公園に慣れる
10月	運動会 お泊り保育 遠足 中央区5歳児交流 おいもパーティ
11月	作品展 お楽しみ会 保育参観ウィーク
12月	音楽会 クリスマス会
1月	よいこの集い おもちつき 六甲山そり遊び遠足（法人内の5歳児と）
2月	豆まき
3月	生活発表会 お別れ遠足 お別れ会 卒園式 交流

1 1. 《月間行事》

行事名	
ECC英語教室3歳児クラス（月1回）	ほまれっこくらぶ（月2回）
ECC英語教室4・5歳児クラス（月2回）	子育て広場（月1回）
お誕生日会（月1回）	

1 2. 《平成29年度在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8	12	12	17	18	15	82	115%
5月	8	13	13	17	18	15	83	116%
6月	8	13	13	17	18	15	83	116%
7月	8	13	13	17	18	15	83	116%
8月	8	13	13	17	18	15	83	116%
9月	8	13	13	17	18	14	82	115%
10月	7	13	12	17	18	14	81	114%
11月	8	13	13	17	18	14	82	115%
12月	8	13	13	17	18	14	82	115%
1月	8	13	13	17	17	14	82	115%
2月	8	13	13	17	17	14	82	115%
3月	8	13	13	17	17	14	82	115%
合計	95	155	167	204	213	173	987	115%

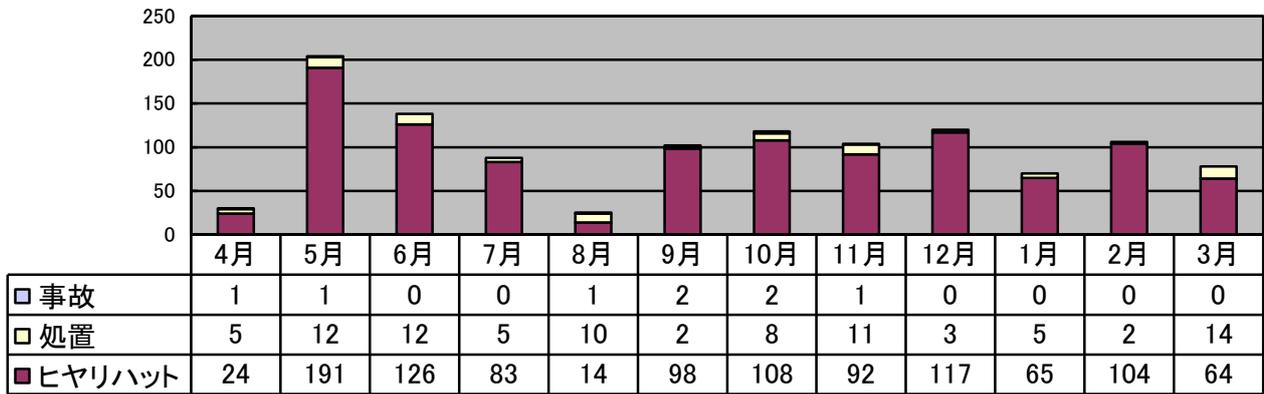
1 3. 《リスクマネジメント報告》

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する

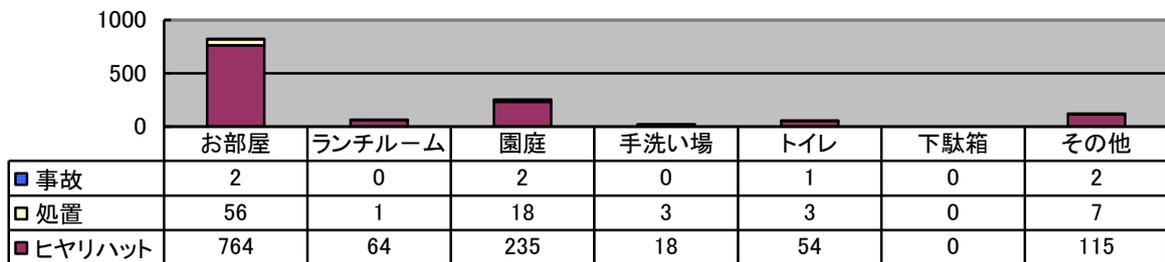
平成29年度					平成28年度				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置	報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	1,315件	7件	1,220件	88件		634件	9件	481件	144件

平成27年度 648件（事故 9件 ドキドキ440件 処置 199件）

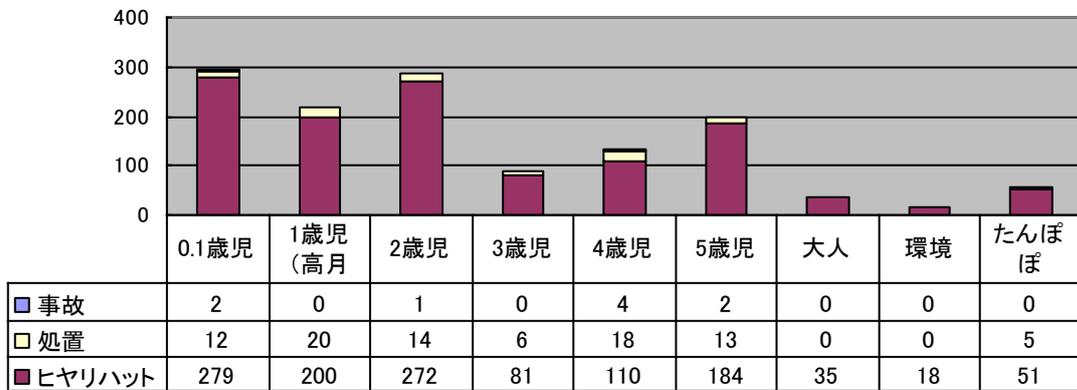
①月別発生件数



②場所別件数



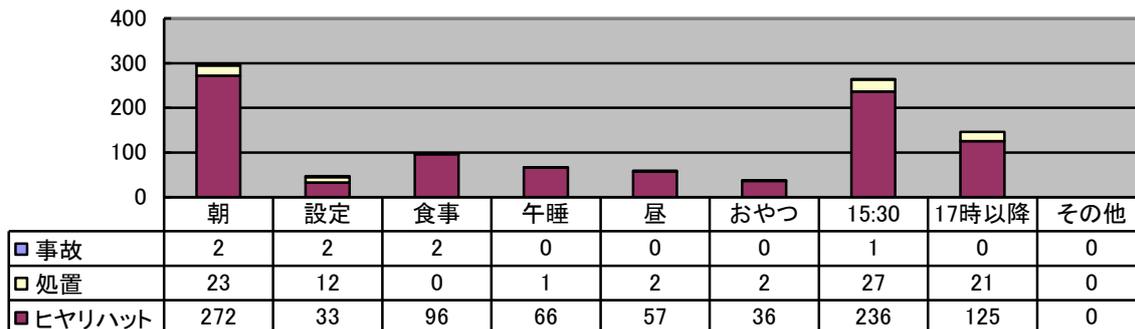
③クラス別発生件数



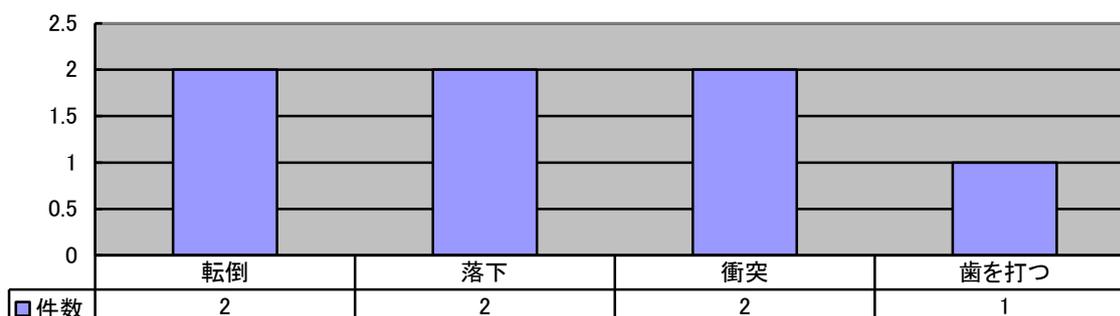
④曜日別発生件数



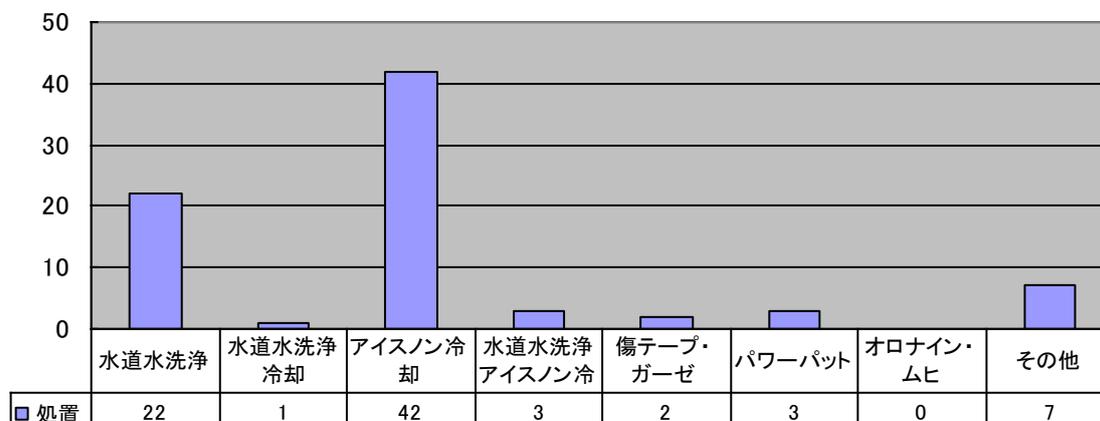
⑤時間帯別発生件数



⑥事故発生内容 7件 (5歳児・4歳児・2歳児)



⑦処置内容



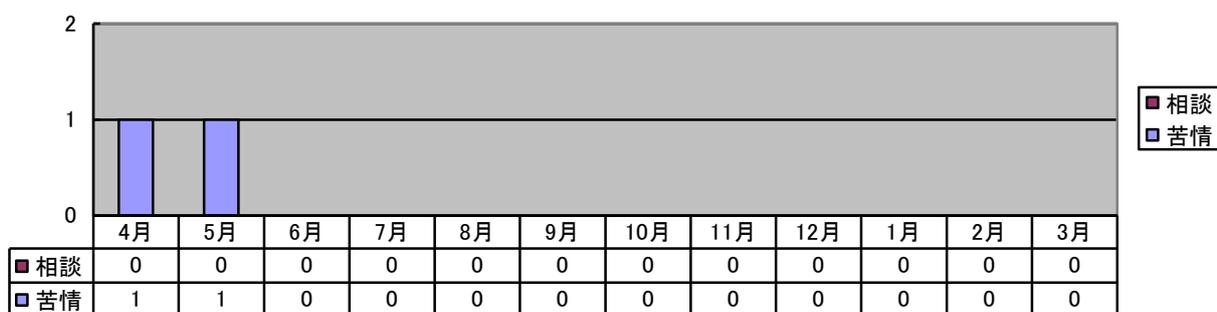
⑧まとめ

- ・乳児の噛みつき、友達との関わりの中で多く出ている。些細なことでも情報を共有し、職員全員が把握して危険なことを減らしていくように心がける。後半乳児が友だちとの関わりから、噛み付き、引っかきの行動が多くなったので、未然に防げるように必ず付くようにし、仲立ちをしながら、遊ばせる
- ・手をつかず転んで歯を打ったり、ヒビや骨折をする子どもが2人出たので、運動遊具の使い方や握り方を繰り返し伝えていき、毎日している運動も再度見直し、力が付くようにする。

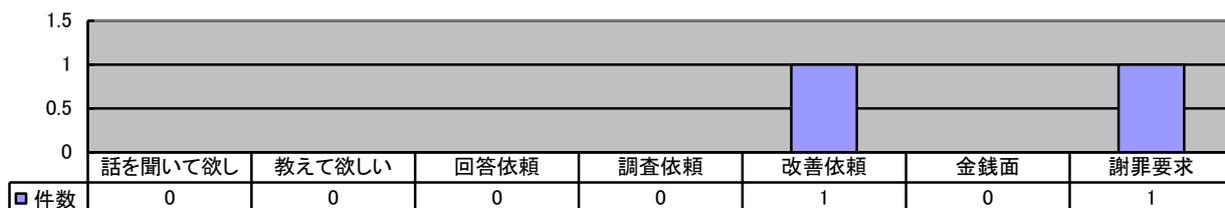
1.4. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→園長が直接対応した件を苦情とする。

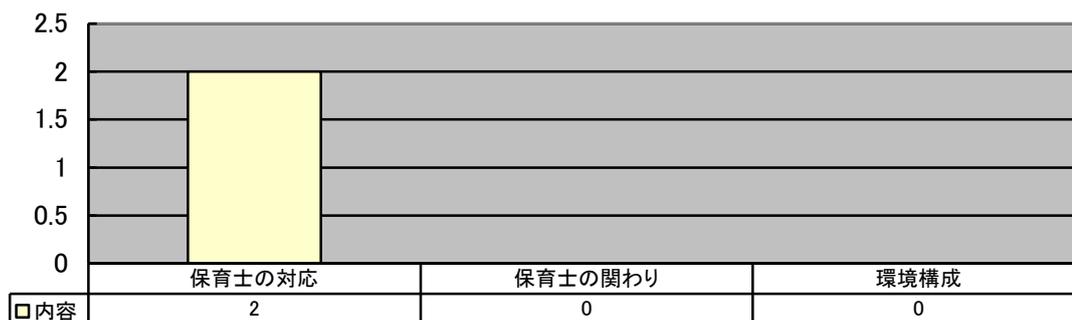
○報告件数・・・2件



要望分類



主な内容



○まとめ

- ・当日延長保育の依頼を受けた職員が内線だと思い、長い間待たせてしまい急いで連絡したのに待たされたことで不快な思いをさせてしまった。受けた職員は謝罪し、園長も翌日謝罪し、母親も急いでいたので声を荒立ててしまったと申し訳なかったと謝罪した。対応した職員に注意をし、他の職員にも気を付けるよう周知した。その後一年目の職員で電話対応と受け方と掛け方の研修を行った。
- ・園児の他児にした行動で、担任の言い方に対しての母親から苦情。担任にもう一度話を聞きたいということで両親が来る。担任と園長が十分に話を聞く。妊娠中であり、不安定なこともあり、余計に感じるが多かった様子。配慮のない言い方を謝罪し、誤解があったことを訂正した。本児の今の様子を伝え今後もよくコミュニケーションをよく取り、一緒に考えていく。

1.5.《総括》

保護者や子どもたちも、こども園としての流れが出来てきて園らしい生活が出来るようになり、園生活を楽しんでいる様子が伺われる。駅が近く、通勤に便利で、正規で働いている人が多く、保護者も協力的である。4年が経ち、もう一度職員全員で保育を見直し、人数も少ない特色を活かし、「みんなで みんなを育てる 大家族」を意識して一人一人に寄り添って丁寧にかかわり、より良い信頼関係が築けるよう、職員全体で盛り上げていく

ことを意思統一した。

年度末のアンケートでは、ほとんどの方が保育方針や保育教諭の対応に好感がもたれ、感謝の言葉が多く、安心して預けていることを実感したが、今後甘えず、よりいっそう信頼関係が築かれるよう職員一人一人が子ども達のために丁寧に保護者に寄り添って、共に子育てをしていきたい。また、地域にこども園を知っていただくようになり、実習生・ワークキャンプ・トライやるウィークも受け入れ、交流を深めている。地域におけるこども園の役割りを全職員が理解し、一時保育も充実させ、子育て家庭への支援も行っていきたい。

今後地域の子育てコミュニティーの拠点となるよう努めていきたい。